



環境パフォーマンス



社会の持続可能な発展のために
環境課題に取り組むこと、その成果を公表してステークホルダーの
皆様の信頼を醸成することが、UBEグループの持続的な成長にとって重要と考えています。

UBEグループにおける環境負荷の全体像 (2015~2019年度)

インプット
2019

水資源の利用状況
水源別の水資源投入量および排出先別の排出水量は、「統合報告書2020資料編(環境安全)」のP8に掲載しています。



	2015	2016	2017	2018	2019
総エネルギー投入量 原油換算量(千MWh)	22,930	22,070	21,980	21,970	22,140
総物質投入量(千t)	16,810	16,210	16,360	16,380	16,300
水資源投入量					
淡水使用量(百万m ³)	97	96	94	92	97
海水使用量(百万m ³)	115	108	115	106	115

https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2020/integrated_report_appendix_7.pdf



	2015	2016	2017	2018	2019
大気排出					
GHG(万t-CO ₂ e)	1,260	1,230	1,230	1,201	1,211
SOx*1(t)	2,850	3,000	2,840	2,870	2,650
NOx*2(t)	15,910	14,860	14,970	16,170	16,070
ばいじん(t)	409	393	341	356	371
PRTR法*3対象物質(t)	173	179	204	252	215
土壌排出					
PRTR法対象物質(t)	0	0	0	0	0
水域排出					
排出水量(百万m ³)	164	156	162	147	163
COD*4(t)	737	724	747	642	705
全リン(t)	12	10	11	9	11
全窒素(t)	554	500	519	468	466
PRTR法対象物質(t)	98	122	119	97	112
廃棄物排出					
外部最終処分量(t)	8,290	7,550	6,560	6,730	6,460
リサイクル量(t)	417,100	421,290	386,660	370,450	389,000

https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2020/integrated_report_appendix_5.pdf

工場別の排出データ
SOx、NOx、ばいじん、COD、全リン、全窒素について、工場別の排出量を「統合報告書2020資料編(環境安全)」のP6に掲載しています。



行政との協定値や自主管理基準を遵守すべく、工場の安定操業に努めるとともに、大気や水域への汚染・汚濁物質の排出管理を徹底して、継続的な環境負荷低減活動を推進しています。また、UBEの工場群は河川のそばに立地しており、水資源の枯渇リスクは小さいのです

が、水の利用率改善の観点から各工場において水使用量と排出水量を管理しています。

さらに、環境経営の取り組みとして、地球環境問題への対応、産業廃棄物の削減・有効利用、化学物質の排出抑制など、循環型社会の形成に貢献する事業活動を引き続き進めていきます。

環境保全データの対象範囲:宇部興産株式会社および環境パフォーマンスの対象グループ会社*5

用語解説

- *1 SOx:燃料に含まれる硫黄に由来する硫酸化合物。ボイラーが主な発生源。
- *2 NOx:燃料を空気で燃焼させる時に発生する窒素化合物。ボイラー、セメントキルンが主な発生源。
- *3 PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)法:事業所から排出・移動した化学物質の量などを把握し、行政に届け出することを義務づけた法律。届け出された情報は環境省のウェブサイト公開される。情報の公開を通して、自主的な化学物質の管理の改善を促進することを目的として制定された。
- *4 COD:有機物による水質汚濁の指標。有機物を化学的に酸化する時に消費される酸素量。
- *5 環境パフォーマンスの対象グループ会社:「統合報告書2020資料編(環境安全)」のP10を参照。